

タケおじさんへ

ラジオネーム：アオバト

パラリンピックをテレビで見っていたら、耳が聞こえなかったタケおじさんのことを思い出しました。

4人兄弟で一番下の私の母と、すぐ上のタケおじさんはいつも仲が良くて、70を過ぎてバスに乗れなくなるまで、よく家に遊びに来ては母と話をしていましたね。

と、いっても、おじさんは声で話すことが出来ないから、手話やゼスチャーで話していましたよね。

私にはおじさんの手の動きが何を意味しているのか分からなかったんだけど、おじさんの笑顔と手や指の動きがちょっと可愛らしくて、私も話の輪に入れてもらえないかなあと思っていたんですよ。

それで、母に「おじさんのお話は手話を勉強すれば分かるようになるのっ」と聞いてみると、母は、

「うーん、それは、長年の兄弟の会話なので、教本とはだいぶ違うと思う」と言っていて細かいことはあまり教えてくれませんでした。

ただ、兄弟の会話は子供の目にはとても楽しそうだし、

きっと、近況報告や気にかけていることなど話は尽きなかったのでしょうね。

おじさんを思うとき、必ず思い出す手の動きがあります。親指と人差し指の指先をくっつけて、花が開くようにパッと離す。またくっつけて、離す。

この動きをするおじさんはとても生き生きした表情でしたよ。それがどんな意味か深く考えたことはなかったけど、最近、ネットで調べたら、「同じ」とか、相づちのことだと知りました。

なるほど、やっぱり仲良し兄弟の会話は大いに盛り上がっていたんですね。

歳を重ねて自然にお迎えが来てしまったおじさんも、

今は沢山のご先祖様とおおいに話をしているのでしょっね。

へ ゲンキカ(りょく) 爆弾／種ともこく